令和7年度

政策3　未来につながる魅力的なまちづくり

# 県道小平塩原線（滝ノ上工区）バイパス整備事業

よくわかる公共事業

事業継続中

## どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

**バイパス道路をつくります**

**地元の声**

・道路が狭くすれ違いが困難なので早く道路を整備してほしい。（地元住民）
・道路脇の斜面から落石や倒木が起きないか心配です。（地元住民）

**事業の概要**

■ 事業箇所：みどり市大間々町浅原～塩原
■ 事業内容：バイパス整備　延長 1.0km 道路幅 9.75m
■ 事業期間：平成30年度～

■ 現在の交通量：2,764台/日（現道 自動車）
（R3年度）　2人/12時間（歩行者）
21台/12時間（自転車）
■ 計画交通量　：2,950台/日（バイパス 自動車）
（R12年度）

### 事業前

◆ 道幅が狭く、大型車両のすれ違いが困難であるなど、円滑な交通に支障をきたしています。
◆ 落石等の危険箇所が多数存在し、災害時に通行止めとなるおそれがあります。

事業前の状況

### 事業後

◆ バイパス整備により、幅員狭小区間が解消され安全性・利便性が向上します。
◆ 落石等の危険箇所を回避し、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが構築されます。

事業後のイメージ

| 成果を示す項目 | 実施前 |
|---|---|
| 道路幅員 | 4.8m（大型車のすれ違い困難） |
| 落石の危険箇所 | 7箇所 |

| 実施後（目標） |
|---|
| 7.25m（大型車のすれ違い困難） |
| 0箇所 |

## 事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

### 今、何をしているか

令和7年度は、測量設計及び用地取得を実施します。

**事業のすすみ具合**　事業開始 ●――――●――――● 事業完了